

「合法木材ハンドブック」(仮称)の作成について

第9回合法性・持続可能性証明システム普及事業WG資料

1 趣旨

違法伐採総合対策推進事業の成果として、過去に作成された普及用資料を再編集し、違法伐採問題と合法性が証明された木材の概要について説明した木材業者向けの解説書を作成する。

2 内容

(1) 概要

違法伐採総合対策推進事業で作成した、合法木材供給事業者研修関係テキストおよび同パワーポイント教材を材料として内容を再構成し、合法木材供給者・一般用の分かりやすい文書を作成し主たる内容とする。それに、ガイドライン及びQ&Aを資料編として編纂する。

(2) 仕様など

サイズ：A4版、中綴じ、横書き

用紙：間伐紙ホワイト

頁数：60頁

カラー：4色刷

作成部数：1万部

作成：全木連、編集：編集委員会（普及WGメンバーにより構成）

(3) 構成案

はじめに

目次

扉／合法木材供給事業のあらまし(仮)

- 1 なぜ違法伐採問題に取り組むのか
- 2 合法木材供給事業の仕組み
- 3 林野庁ガイドラインと分別管理者・文書管理責任者の役割
- 4 合法性が証明された木材製品の普及と合法木材ナビの役割

扉／資料編

資料 木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン

資料 ガイドラインに関連したQ&A

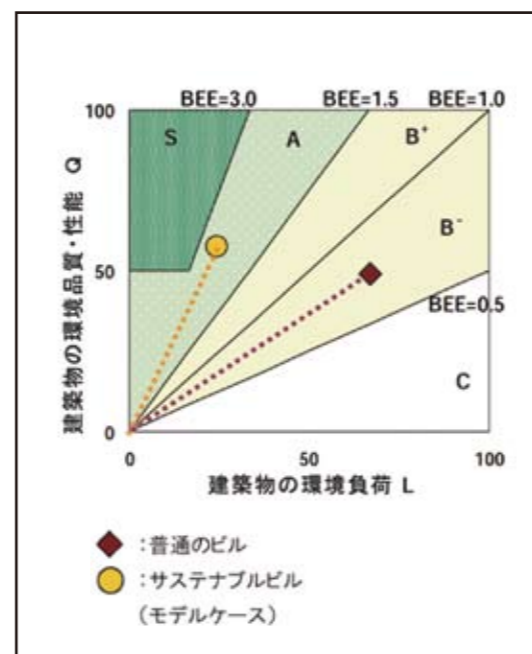
1

なぜ違法伐採問題にとりくむのか？

1. 環境配慮型ビジネスの潮流と木材のチャンス

最近消費者や企業などの物品調達をする場合、価格、性能、デザインなどとともに、環境に負荷を与えない商品（エコプロダクツ）を選ぶという動きが広がり、政府もグリーン購入法という形で応援をしています。図1は、毎年日経新聞が「エコプロダクツ（環境配慮製品・サービス）の普及とビジネスチャンスを広げることを目的」（開催趣旨）としたエコプロダクツ展の出展者と来場者の推移を示したものです。最近お目にかかれぬ見事な右肩上がりのグラフとなっており、エコプロダクツをビジネスの対象とする環境配慮型ビジネスが大きな潮流となっていることがわかります。

木材の関係でも、国土交通省の肝いりで、建築物の環境負荷をわかりやすく示す評価方法*1が開発され、仕様部材の環境負荷に注目が集まるきっかけになっています。木材は便利で安い建築材料として古くから建築・家具などの業者、消費者に親しまれていますが、最近では、このようなエコビジネスの潮流を受け、木材は再生産が可能であり、製造時に排出する二酸化炭素が他の建材に比較してきわめて少ない温暖化対策の優等生であるとして、地球環境に貢献する木材の側面に関心が高まっています。



環境負荷の評価方法開発で、使用部材の環境負荷が注目されている。

2 違法伐採問題をクリアしチャンスを生かす

(1) 違法伐採問題の広がり

このように森林整備が急がれる中、森林組合に求められることは何なのでしょう。日本の私有林の保有構造は、1ヘクタール以上の山林を保有する森林所有者のうち、5ヘクタール未満の森林所有者が約7割を占めています。これは、日本の私有林の保有構造が小規模零細であることを示しています。従って、今後、森林整備を推進していくためには、小規模分散した私有林を取りまとめる「集約化施策」を行うことが必要です。そのためには、森林所有者にわかりやすく森林施業を提案する「提案型集約化施策」の取り組みが不可欠です。

このような中で、海外の一部の地域で法令に違反した木材が伐採され不法に輸出されている違法伐採問題が指摘されていることは、産地国の税収や環境に影響があるだけでなく、環境に優しい木材を標榜する木材業界にとっても大きな問題となりつつあります。

熱帯林などを中心に、世界中の生産量の8%が違法伐採生産であるとされており*2、世界銀行の報告書*3によると「世界の違法伐採は公的な森林のみに限っても、100億ドル（約1兆2000億円）の減収になり持続可能な森林管理に関するODA供与額の6倍に及ぶ」とされています。また、日本は世界で2番目に違法伐採木材の輸入量が多いという指摘もあります*4。

このような違法伐採問題は、輸出国における環境や財政などに悪影響をあたえるだけでなく、規制を逃れた安いコストの木材が輸出されることになると日本の様な輸入国における木材の値段が安くおさえられ日本の林業や木材業界にとっても放置しておくわけにはいかない問題です。

*1 建築物総合環境性能評価システム（CASBEE）では、建築部材の環境負荷、持続可能な森林から生産された木材の使用状況を評価基準の一つにしており、近年大規模建築物の建築許可の手続きでCASBEEの評価を義務づける動きが出てきている。

*2 全米林産物製紙協会 2004年「違法伐採と世界の木材市場」Illegal Logging and Global Wood Markets:

*3 世界銀行 2006年8月「森林法の施行と管理の強化」Strengthening Forest Law Enforcement and Governance

*4 英国 WWF 2007年1月「違法伐採を排除しろ」Illegal logging cut it out” (



エコプロダクツ展来場者推移

